

パンフレットの活用について

2008年秋からの経済危機を口実とした、製造・大企業による「非正規切り」が多発し、多くの労働者が職を奪われ、住むところもなくなる事態が引き起こされました。また、業績悪化を口実に「育休切り」が多発しています。

全労連は、「育休切り」をやめさせ、仕事と子育て・生活の両立を保障する育児介護休業法の改正を求めて運動をすすめてきました。09年の改正国会審議では、不利益取り扱いの罰則などの強化、「育休切り」を防止することを目的にした使用者の書面での育児休業期間の明示義務など改善されてきています。また、父親の育児休業の取得促進を目的とする措置の拡充、3歳までの短時間勤務・所定外労働の免除の義務化、子の看護休暇の拡充、短期の介護休暇の創設など不十分ながら、一定の改善を勝ち取ってきています。改正法律が2010年6月施行となります。

また、次世代育成対策推進法の一部を改正する法律が08年12月に公布され、行動計画策定・公表の義務化が101人以上の企業に課せられることとなりました。同法は、少子化の対策として、仕事と生活の両立支援のための計画を立案させ実行を求めるもので、企業・公務職場・自治体にその実施が求められています。

2010年春闘では、職場の両立支援策の拡充を求めて、こうした法改正の活用をはじめ要求討議、協約締結運動の強化が求められています。職場討議に資するためにこのパンフレットをご活用ください。

職場で、家族で仕事も生活も大切にしながら働き続けるための願いを語り合い要求にしましょう。

それぞれの企業で次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画を策定させましょう。

自治体は次世代育成支援対策推進法に基づき行動計画を策定し、法律に基づく見直しを迫られています。国や自治体への要望を労働組合として提出していきましょう。

職場で、実際何時間働いているのか、仕事の過密度、子どもを育てながら（要介護者を抱えながら）働き続けられるかなど職場実態を調べましょう。

労働協約・就業規則をチェックし、仕事と生活の両立支援、妊娠・出産のための法律適用を求めましょう。それぞれの職場実態にもとづき要求作りを行い、労使交渉に反映させましょう。



育児介護休業法の改正・省令指針の見直しに当たって 全労連は以下の点を要求してきました

改正された法律は不十分さを残しています。法律は最低限おこなわなければならない措置です。職場協約締結に際しては、より良い制度の導入を求めていきましょう。また、すでに法律以上の協約を勝ち取っている職場では、不況を口実とした切り下げを許さないよう取り組みを進めましょう。

- 育児休業の期間を子が3歳に達するまで延長するとともに、複数回取得できるようにすること。
- 介護休業の取得期間を延長すること。1日単位・時間単位など、「短期の介護休暇」制度を設けること。
- 子どもの看護休暇の対象を、家族的責任を果たすための休暇（健診、予防接種、保育園・学校行事への参加等）に拡大し、1年につき有給で10日以上とすること。また、子どもの人数に応じた日数にすること。
- 短時間・有期雇用労働者の育児・介護休業の取得要件を緩和すること。
- 子ども及び要介護家族を持つ労働者が労働時間短縮措置を取得しやすいよう、条件整備をおこなうこと。「短時間勤務制度」については、身分保障や賃金の均等待遇の原則化など、取得しやすい制度へ改善すること。
- 家族的責任を有する労働者の転勤・長時間通勤を伴う配置転換などについては、本人の同意を条件とすることを明記すること。
- 昇給・昇格、一時金・退職金などの決定にあたっては、妊娠・出産のための休業及び育児・介護休業、短時間勤務制度の取得期間については、勤務したものと見なすこと。
- 子ども及び要介護家族を持つ労働者が請求した場合には、同居家族の有無にかかわらず、時間外・休日・深夜労働を免除すること。
- 子どもの看護休暇、短時間勤務制度、時間外・休日・深夜労働免除措置の対象となる子の年齢は義務教育終了前まで引き上げること。
- 介護休業に定める要介護状態の定義を見直し、現行2週間常時介護を必要とする状態から1週間とすること。
- 介護休業・短期の介護休暇の対象家族は現行、父母（配偶者の父母含む）及び子と同居・扶養の親族とされているが、祖父母、兄弟姉妹、孫についても同居・扶養のいかんを問わずに対象とすること。
- 短期の介護休暇の取得要件は、要介護状態に関わらず、家族の看護休暇にも対応できるものとする。
- 育児・介護休業の申し出が労働者からあった場合、事業主は書面にて、育児休業期間、休業後の労働条件などを明示し労働者に交付することを義務化すること。
- 現職復帰を原則とし、配置換えなどは労働者との協議に基づくこととする。
- 公務・民間問わず非正規労働者への適用を。

